

# 町政懇談会の結果報告

特集

## もっと元気なわっさむ町をめざして

町政懇談会は、平成22年度の町政運営に町民の皆さんの意見を反映することを目的に毎年開催されています。

今年度は、7月24日から8月12日までの10日間で行われ、計141名の出席者のもと、町政に対する活発な議論が交わされましたので、その内容についてご紹介いたします。

### ◆政策的要望事項について

今後、わっさむ町が歩むべき方向性など、町民の皆さんから出された政策的な要望事項についてご紹介します。

なお、重複する内容については、まとめて掲載しています。

**Q** 中学校を現在の和寒高校に移転した場合、中学校の跡地活用についてはどのように考えているか。

**A** 現在、庁舎内で職員によるプロジェクトチームを立ち上げ、その活用方法について検討していくこととしています。教育施設でもあり活用方法によっては、一部制約を受けられる場合もありますが、有効に活用できる方法を、町民の皆さんの意見もお伺いしながら、検討していきます。

**Q** 剣淵町と合併をせず、単独の道を歩むことになった本町ではあるが、将来人口の推計では新聞報道などでも、相当数減少するようである。認識を持って町政運営にあたってほしい。

**A** これまでの国勢調査での減少や出生などの社会的要因により、減少するといった数字が示されています。

たところですが、そのようにならないよう、和寒町に移住していただく方、または町内で働く場の確保なども含めて対策を講じていく必要があると認識しています。

**Q** 自治会になって2年が経過しようとしているが、財政的に厳しい運営になっている。これまでの伝統的行事も継続していく必要があり今後自治会をどのように活性化していくかと考えているか。

**A** 費用がかかることは理解していますが、費用をかけなくても楽しく活動できる方法を、自治会内で知恵を出し合い工夫しながら、活動していくことが重要だと考えています。今後、自治会としての役割を明確にし、どの部分に対して町が支援できるかなど検討すべきことはありますが、自治会独自の方法があってもいいし、自治会連合会などで勉強しながら自主的な自治会活動ができる方法を検討していかなければならないと考えています。

**Q** 太陽光パネルを既に設置している世帯もあり、他市町村においては助成を行っているが、本町での助成の考えはないか。また、間伐材を活用したペレットの構想はどのようになっているか。



**A** 和寒町でこういった代替エネルギーがあるかということ、今年新エネルギービジョンを策定しています。太陽光も間伐材のペレットも代替エネルギーとして有効でありますが、まずビジョンを策定し和寒町にふさわしいエネルギー政策を検討していきたいと考えています。町としては、できれば雇用の場につながる政策にしたいと考えておりますがビジョンを踏まえたくうえで検討していきます。

◆自治会からの意見要望について

各自治会からの意見要望については、地域ごとの要望事項が多く含まれていることから、全町的に共通する事項のみ、一部をご紹介します。

**Q** 全町的にゴミの減量化に取り組んでいるが、ゴミの収集状況はどのようになっていくか。また、将来の有料化はどのように考えているか。

**A** 醤油のペットボトルやペット用の缶詰が洗われていなかったり紙製容器包装にダンボールや牛乳パ



ックが混ざっているケースが見受けられます。西和の埋立処分場は、皆さんの分別のご協力により当初より10年以上は長く使用できる見込みとなっており、今後も長く使用できるよう、自治会や老人クラブなどの小さな単位で、ゴミ分別の再確認の勉強会を開催することとしています。有料化については、いまのところ考えておりませんが、近い将来は1市2町で足並みを揃えたなかで検討していかなければならない課題であると考えています。

**Q** アライグマの箱ワナは誰でも設置できるのか。また、他の動物を捕獲しても大丈夫か。

**A** 箱ワナの設置については、町職員が資格を取得しており、資格を持った職員が行う講習会に参加した方が、設置できるようにいたします。農事組合単位などでも行うことができますので、希望があればご連絡ください。また、アライグマの箱ワナであり他の動物を捕獲することはありません。万が一入ってしまった場合は、逃がしていただくこととなりますので、ご注意ください。

**Q** 高度活性化事業は、今年度で終了することだが、いまだに肥料代や資材代も高く、経営を圧迫

している。今年も悪く心配されているが、継続して実施することはできないか。

**A** この事業は、20年度で終了する予定でしたが肥料高騰などを受けて緊急的に1年だけ延長し21年度も実施してきました。基本的には本年度で終了ですが、中山間事業の継続や国の産地交付金、国のリース事業などの対策も組まれていることから、今後国の動向を見極めながら現制度の見直しも含めて検討していきたいと考えています。

**Q** 町営バスに乗る人が少なく感じている。今の大型バスから小さなバスにするなどの対策は考えられているか。

**A** 現在、1日にどれくらいに乗降があるか統計をとって調査しています。その結果を踏まえて今後の対応策を検討していきます。

**Q** 三笠山公園のパークゴルフ場のトイレが和式で、足が不自由な人にとっては不便なため、改修することはできないか。

**A** 公共施設については、現在洋式のトイレに変更しています。今年度実施できるかわかりませんが、

実施について検討します。

**Q** 児童館が新たに設置されることになるが、働いている人のためにも5時頃まで延長することはできないか。

**A** 以前は、町営バスの運行に合わせた時間となっていました。現在は保育所との併設のため、終了時間について検討していきます。

この他にも、自治会の皆さんから多くの意見要望が寄せられました。寄せられた意見は今後の町政運営に反映されます。また、緊急を要するものや、後日確認が必要となる事項については、関係機関と協議を行うとともに、その処理状況を関係者及び各自治会にお知らせすることになっております。

意見要望に関する不明な点などがありましたら、役場担当窓口までお問い合わせください。